

次号は、生まれ変わった新生ダイゾーの歴史を特集します！

新生DAIZOへ

社章の変遷

DAIZO



平成5年4月、三社合併後の新生大阪造船所を象徴するものとして制定され、現在に至る。

昭和46年、創立35周年の祝典時に新たに制定されたもの。

太平洋戦争開戦後、大阪工場は呉海軍工廠大阪分廠となった。敵性文字排斥の流れのなかOSは適切でないとして改訂。大阪造船所の大と錨を図案化したもので、戦後もそのまま引き継がれた。

昭和11年、(株)大阪造船所創立時の社章で、昭和17年、東京製鐵(株)を合併後もこの社章が使用された。錨に、大阪造船所 OSAKA SHIPBUILDING CO.,LTD.の頭文字OSを配したものの、

# ダイゾー80年のあゆみ

## PART 1

当社は本年4月25日をもって創業80年を迎えます。本誌ではその歩みを2回に分け、ダイジェスト版で紹介します。昭和11年に造船業でスタートし、戦中の軍需会社指定、空襲の被害を受けながらもいち早く輸出船市場を開拓しました。新造船所を建設するなど成長期へと移行し、バルクキャリアでの地位を確立。バルクのダイゾーと呼ばれるまでの会社となります。しかしオイルショックから派生する、第1次・第2次造船構造不況に見舞われ、苦しい時代を経験しました。そこから脱出・再生するきっかけとなったのが、平成5年。今号では、新生ダイゾーまでの歴史を振り返ります。

### 平成5年(1993年)

4月 大阪エゾール工業(株)とニチモリ・センチュリーシステムアイを吸収合併

経営理念	経営方針
一、世界一の船の製造と世界一のサービスの提供を追求することにより、地球の平和に、日本人に、世界の人民に「豊かな生活」を創出していく。 二、金銭的利益の追求を第一とし、地球の平和を第一とする姿勢を堅持し、その利益を社会に還元する。 三、長年と培った技術と経験を、(一)「安全・公正・正確」を旨とし、(二)「誠実・責任」を旨とし、(三)「顧客への貢献」を旨とする。	一、高付加価値・高収益を追求する。 二、高品質・高信頼性を追求し、顧客の満足・信頼を得る。 三、高付加価値・高収益を実現するための技術・ノウハウを追求する。 四、高付加価値・高収益を実現するための人材を育成する。 五、高付加価値・高収益を実現するための体制を整える。 六、高付加価値・高収益を実現するための環境を整える。 七、高付加価値・高収益を実現するための文化を醸成する。

新生ダイゾー 経営理念・経営方針 (平成5年)



432番船 SANKO POINSETTIA (昭和60年)

### 昭和32年(1957年)

1月 大阪エゾール工業(株)が大阪造船所の資本系列に入る(後のエゾール事業部)

### 昭和39年(1964年)

10月 日本モリブデン(株)が大阪造船所の傘下に入る(後のニチモリ事業部)

### 昭和44年(1969年)

3月 大阪工場 売上100億円を超える輸出船市場を切り開いてバルクキャリアの分野で高い競争力を持った

### 昭和48年(1973年)

2月 船舶の大型化に対応すべく大島造船所を設立  
3月には造船時代最大の1,413名雇用

### 昭和23年(1948年)

12月 戦後第一船「江戸丸」引き渡し



「江戸丸」(昭和23年)

### 昭和26年(1951年)

1月 木津川工場操業開始



木津川工場(昭和28年)



造船工場(昭和14年)

### 昭和11年(1936年)

4月 水の都大阪で株式会社大阪造船所設立

11月 第一船「西京丸」

### 昭和15年(1940年)

大阪工場が海軍管理工場に

1936

### 昭和50年(1975年)

9月 「末広丸」フィリピンでシージャック

### 昭和51年(1976年)

キャンセル最多110隻数

### 昭和53年(1978年)

3月 勇退者特別措置による雇用調整

### 昭和56年(1981年)

2月 初の駐輪設備納入(後の陸機事業部)

### 昭和61年(1986年)

2月 特別退職措置による雇用調整

### 昭和62年(1987年)

9月 大阪造船所 大型船舶建造から撤退

### 昭和63年(1988年)

3月 社員38人に減少

造船構造不況期

成長期

戦中期

創業期

### 昭和18年(1943年)

6月 海軍分工廠として輸送艦を建造

### 昭和20年(1945年)

6月 大阪工場の空襲被害甚大、工場機能喪失

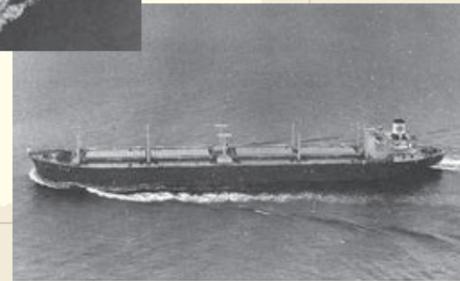
8月 終戦  
全事業所で操業停止、従業員解雇



創業第2番船「江戸丸」(昭和12年)



冷凍工船「極光丸」



最大建造船=鉾船「豊光丸」



引渡式(国旗・社旗掲降)



起工式(神事)



引渡式(出帆準備)



### 昭和の時代に海賊が!

#### 末広丸シージャック事件

昭和50年(1975)9月26日未明、フィリピン・ミンダナオ島サンボアンガ市に近い泊地で、ラワン材積み取りのため停泊中の社船「末広丸」が数十人の武装ゲリラに乗っ取られ、乗組員を人質に身金100万ペソ(約4千万円)を要求される事件が起きた。関係者の不眠不休の対応と日本政府のバックアップによって、事件は幸いフィリピン政府とゲリラの交渉で合意が成立。87時間ぶりに全員無事解放された。

末広丸シージャック事件(昭和50年 朝日新聞)



### 社会情勢と造船業界

- 昭和30年頃 第1次造船ブーム
- 昭和37年頃 第2次造船ブーム
- 昭和48年末の石油ショックの影響下
  - ・ 昭和49年~54年 第1次造船構造不況
  - ・ 昭和60年~61年 第2次造船構造不況